

こどもの新型コロナワクチン接種について

◆5歳から11歳の新型コロナワクチン接種が始まりました

5歳から11歳の方を対象とした新型コロナワクチン接種が、4月2日（土）からひらた中央病院特設会場で始まり、感染対策を徹底したうえで、石川郡内合同で接種を実施しました。また、小児科医である高橋謙造医師（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）にご協力いただき、副反応の夜間電話相談窓口を設置しました。



〈接種状況〉

対象（5歳～11歳）	302人
1回目接種者	216人
1回目接種率	71.5%



〈ワクチンの種類〉

ワクチンの種類	5～11歳用ファイザー社ワクチン
接種回数	2回
接種間隔	3週間
接種量	0.2ml
備考	有効成分は12歳以上用ファイザー社ワクチンと比較して1/3となります。

◆12歳から17歳の新型コロナワクチン追加（3回目）接種を実施しました

12歳から17歳の方を対象とした新型コロナワクチン追加（3回目）接種を、4月29日（金）に平田村役場庁舎内で実施しました。12歳から17歳の追加接種には、現時点でファイザー社ワクチンのみが薬事承認されています。接種量は、18歳以上の方の追加接種と同量です。なお、追加接種は、前回接種から6か月が経過してから接種することができます。

〈接種率〉

対象（12歳～17歳）	251人
3回目接種者	188人
3回目接種率	74.9%

体調不良や、ご都合により接種機会を逃した方は、健康福祉課にお問い合わせください。

健康福祉課 ☎55-3119

国民年金だより

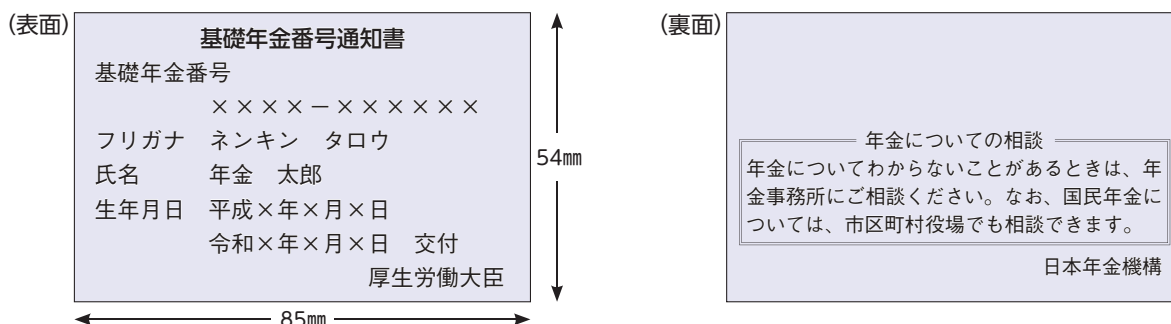
国民年金手帳から基礎年金番号通知書への切替え

【令和4年4月1日施行】

(1) 改正内容

- 令和4年4月1日以降に初めて年金制度へ加入する方（20歳に到達した方、20歳前に厚生年金被保険者となった方等）に対し、年金手帳に代わり、基礎年金番号通知書を交付します。
- 既に年金手帳を交付されている方には、基礎年金番号通知書の交付は行いません。
- 年金手帳は、「基礎年金番号を明らかにすることができる書類」として、引き続き、年金手続きにご利用いただけますので大切に保管してください。

〈基礎年金番号通知書〉



※「性別」及び「変更後の氏名」欄は削除 ※厚生労働大臣名で発行

郡山ねんきん事務所 ☎024-932-3434 / 住民課 ☎55-3112

5月31日(火) 移動献血車が来村します!

～輸血用の血液がたいへん不足しています～

献血の際は、新型コロナウイルス感染予防のため、消毒、検温、換気等を徹底して行いますので、皆様のご協力をお願いします。また、献血協力者には後日、血液検査結果が直接届き、ご自身の健康状態の把握にお役立ていただけます。

なお、献血場所と時間は次のとおりです。



献 血 場 所	時 間
平 田 村 役 場	14:30～15:00
ひ ら た 中 央 病 院	15:30～17:00

《 献 血 で き る 方 》

1. 年 齢 満16歳以上70歳未満の方
(65歳以上の方は、60歳から64歳までの間に献血された方)
2. 体 重 男性45kg、女性40kg以上の方
3. 血 圧 最高血圧が90mmHg以上の方
4. 間 隔 ◎成分献血＝男女とも2週間後
◎200ミリリットル献血＝男女とも4週間後
◎400ミリリットル献血＝男性12週間後、女性16週間後
5. その他 現在病気や妊娠中(過去6か月以内に妊娠していた方及び産後6か月以内を含む)でない方、また過去に輸血を受けていない方



ひ ら た 中 央 病 院

パーキンソン病について



小原 大治 医師

意外と知られていないことで、その病名をきくだけで得体のしれない恐ろしい病気になってしまう方が多いものです。まずはパーキンソン病について知ることから始めましょう。

主な症状としては手足の震えや筋肉が固くなり動きがおそくなる、転びやすくなるなどが挙げられます。40歳以下で起こることもあり、若年性パーキンソン病と呼んでいます。この病気に特定の原因はなく、誰にでも起こりうる病気です。60歳以上では100人に約1人がパーキンソン病を発症しており、平田村だけで30人程いると考えられます。

パーキンソン病を発症すると脳内のドパミンという物質が減り身体に影響が出ます。震えは主に休んでいるときに手に起こり、動かすと震えは小さくなります。筋肉が固くなり動きがおそくなるのは自分ではあまり感じませんが、他人が手足を動かすと抵抗があります。動きが遅くなることで細かい動作がしにくくなります。歩き出しの最初の一步が踏み出しづらくなりバランスを崩すので転びやすくなります。

治療の基本は薬物療法になります。現在は医学の進歩により、パーキンソン病は内服により劇的に改善することが多くなりました。薬物療法で改善しない場合の外科治療も進歩しています。治療が進歩したことにより、現在のパーキンソン病患者の平均寿命は全体の平均とほとんど変わらないと考えられています。

パーキンソン病の治療薬は高額なものが多く、経済的負担になります。しかし、症状の進行によっては、薬代を国が全額負担する制度があります。

パーキンソン病は専門医でないと診断が難しいため、自身が思い当たる様であれば、当院を受診してください。

問い合わせ：ひらた中央病院 ☎ 55-3333